

◎山田憲昭市長

世界認定に向けての感触についてお答えをいたします。

先週 7 日から 9 日にかけて開催されましたユネスコのカウンシル会議におきまして、専門家による世界認定の審議が行われました。

内容につきましては、現時点ではまだ公表はされておりませんが、10 月に実施された現地審査におきましては、審査員から桑島化石壁をはじめ、手取層群産出化石の世界的価値について御理解をいただくとともに、専門分野における継続的な研究が行われていることや、地域住民が科学や地質に興味を持ち、ジオパーク活動に誇りを持っていることが大変すばらしいというコメントをいただいたところであります。

地域コミュニティに根づいた活動の重要性を改めて認識いたしたところであり、白山手取川ジオパークが世界認定を目指し、地域の皆様とともに進めてきた取組が専門家に認められるレベルに達してきたものと感慨深く感じたところであります。

こうしたことを総合的に考えますと、必ずや世界認定をいただけるものと思っております。

ジオパークは 100 年後、さらにその先を見据えた持続可能な社会づくりを目指す取組でもあります。このことを踏まえ、白山手取川ジオパークは、原点である水を暮らしや産業に結びつけ、地域コミュニティを基本としたジオパーク活動の推進により地域の発展を目指してまいりました。

世界認定は新たなスタートとなります。この新たなスタートをきっかけとして、これから私たちが地質資源や自然から受ける恩恵を次世代にどのようにつなげていくか、そしてどのように生かしていくか、さらにはどのように発展していくかを市民の皆様とともに考え、ジオパークによるさらなる地域の発展に努めてまいりたいというふうに思っております。